

タイトル	おばあさんは飛ぶ
ポーランド語のタイトル	Latająca babcia
テーマ *	d
名前	ミラ・ミジョウエンプスカ
ポーランド語の名前	Mira Mizolebska
学校名 * 2	ワルシャワ大学東洋学部日本学科
学年	修士 1 年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さん。皆さんは、おばあさんが飛べるということを知っていますか。信じられないかもしれませんが、これは私の目の前で起こった出来事です。

私はコンサートホールで働いています。ある日、入口でお客さんを待っていると、年配の女性が近づいて来ました。

「あの…すみませんが、無料のチケットはありますか。」

「無料のチケット？」

私は驚いて答えました。その日はとても有名な音楽家が演奏することになっており、高いチケットも、すでに完売していました。

「申し訳ございませんが、今日のチケットはすべて売り切れております。」

しかし、おばあさんは信じていないようで、

「チケット、ないの？」

と疑うように聞きました。

「はい、申し訳ございません。」

ところが、おばあさんは帰ることなく、ロビーで待っているのです。彼女は二時間の間、ずっとソファに座って待ち続けました。そのうち、そこに友達がだんだん集まって来て、みんなでじっとスタッフを見つめながら、

「チケットは絶対どこかにあるはずよ…」

とささやいていました。

やがてチケットのキャンセルが2、3枚出たので、おばあさんの友達のうち数人がそれを買って、中に入れることになりました。しかし、あのおばあさんはそこに座ったままじっと動かず、ただで中に入る方法を考えていました。

そのうち入口を閉める時間になり、私はゆっくりドアに向かいました。すると突然、隣におばあさんが現れたではありませんか。びっくり仰天とは、このことです。ホールの中に入るには、長い階段を上らなければなりません。私でさえ1分はかかりますが、何とそのおばあさんは3回大きなジャンプをして、階段の上を矢のように飛んで行ったのです。

「お願い！ちょっと中を見るだけだから！」

彼女はそう言って、開いたドアへ一気に走り出しました。

「申し訳ございません！それはできません！」

私は彼女を追いかけてきました。ドアがどんどん近づいてきて、私はすんでのところでおばあさんを止めました。

その夜おばあさんは、ホールの中を見ることはできませんでした。そして同じ夜、私は「人は70歳でも飛べる」ということを知りました。しかし、もう一つ、悲しい事実も知りました。それは、「人はずるい生き物だ」ということです。

人のずるさは計り知れないものです。高いお金を払ってコンサートに来る人もいるのに、お金を払わずに中に入ろうとするのは大変不公平です。音楽家の努力とその練習時間にリスペクトを持たず、対価を支払わないことがどれほど身勝手か。なぜおばあさんは、それがわからなかったのでしょうか。

皆さん。どんなイベントも、色々な人の協力があってこそできるのです。この弁論大会もそうです。今日のために、いったいどれだけの人が準備をしてくれたのでしょうか。だから、皆さん。もし次にイベントに参加する際は、頑張ってくれたすべての人に感謝の気持ちを忘れないでください。

Streszczenie (60-70 słów)

Pracując na sali koncertowej, miałam okazję poznać wielu ludzi, a wśród nich siedemdziesięcioletnią babcię, która próbowała wejść, nie płacąc za bilet. Jak się okazuje, takie przypadkowe spotkanie może stać się dobrą lekcją dotyczącą ludzkiej natury - o tym, że ludzie bywają naprawdę chciwi, a także o tym, że potrafią latać, gdy zajdzie taka potrzeba.